



日本コロムビア株式会社

2020年5月27日

報道関係各位

日本コロムビア専属作曲家として活躍された、 古関裕而の名曲に再注目！所属歌手による新企画も！

日本コロムビア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 阿部 三代松、以下「当社」）は、作曲家・古関裕而が作曲した多くの作品の中から人気投票による上位 30 曲を集めた 2 枚組 CD『あなたが選んだ古関メロディーベスト 30』を 4 月 29 日に、また、現在放送中の連続テレビ小説「エール」の劇中で流れた音楽を収録した CD『連続テレビ小説「エール」オリジナル・サウンドトラック』を本日発売いたしましたことをお知らせいたします。

4 月に発売されました CD『あなたが選んだ古関メロディーベスト 30』は、予想を上回る売り上げで発売 1 か月の売り上げは 1 万枚を超え 2 万枚に迫る勢いです。人気投票は、古関の出身地である福島県の新聞社・福島民報社の企画によるもので、昨年の 12 月から今年の 2 月にかけて募集し約 1 万 7000 票が集まりました。

連続テレビ小説「エール」の主人公のモデルとなった国民的作曲家・古関裕而は、昭和 5(1930)年にコロムビアレコードの専属作曲家となりました。以降、平成元(1989)年 8 月 18 日に 80 歳でその生涯を閉じるまで、「高原列車は行く」「長崎の鐘」「イヨマンテの夜」「とんがり帽子」「六甲おろし」「栄冠は君に輝く」「オリンピック・マーチ」など歌謡曲、映画や番組の音楽、応援歌など幅広いジャンルの作品約 5,000 曲もの作品を残した、正に昭和を代表する作曲家です。古関の名曲の数々や、生い立ち、ゆかりの人々などを紹介した特設ホームページ(<https://columbia.jp/koseki/>)へのアクセスも急増しています。



また、弊社所属の歌手たちが古関作品をリレー形式で歌う『朝ドラ「エール」にエールを！』企画が本日よりスタートしました。この企画は、コロムビアレコード公式ツイッターに所属歌手たちがそれぞれの思いを込めて、アカペラ・カラオケ・弾き語り等様々な形で歌唱映像を自撮りした映像を投稿していくもので、冠二郎、クミコ、日野美歌、若山かずさ、多岐川舞子、タブレット純ら約 20 人の歌手たちの貴重な歌唱映像が今後次々と配信される予定です。

- 日本コロムビア 古関裕而特設ホームページ <https://columbia.jp/koseki/>
- コロムビアレコード公式 Twitter (@columbialabel) https://twitter.com/columbia_label

■リリース情報

2020/04/29 発売

あなたが選んだ古関メロディーベスト 30
(CD 2 枚組)

COCP-41121~2 ¥ 3,000 + 税

<https://columbia.jp/prod-info/COCP-41121-2/>

2020/05/27 発売

連続テレビ小説

「エール」オリジナル・サウンドトラック

COCP-41137 ¥ 3,000 + 税

<https://columbia.jp/prod-info/COCP-41137/>



■古関裕而プロフィール

令和 2(2020)年放送の NHK 連続テレビ小説『エール』の主人公のモデルとなった国民的作曲家・古関裕而は、昭和 5(1930)年にコロムビアレコードの専属作曲家となりました。以降、平成元(1989)年 8 月 18 日に 80 歳でその生涯を閉じるまで、5,000 曲もの作品を残した、正に昭和を代表する作曲家です。

- ◇ 本名：古関勇治
- ◇ 生年月日：明治 42(1909)年 8 月 11 日
- ◇ 出身地：福島県福島市

古関裕而は、「日本のスーザ」つまり世界のマーチ王と呼ばれることがある。それは大学の応援歌から、NHK のスポーツ番組のテーマ「スポーツ行進曲」、東京オリンピックの「オリンピック・マーチ」まで、実に数多くのマーチを作曲し、その世界では圧倒的な実績を誇っているからである。実際、最初のレコードは、出身地である福島に材を取った「福島行進曲」だった。それと同じ昭和 6(1931)年に、早稲田大学の応援歌「紺碧の空」を



発表している。だが、古関が単なるマーチ作曲家でなかったことは、数多くのヒット曲をみてもわかる。実際、「紺碧の空」の翌年には「船頭可愛や」、そして2年後には「露営の歌」を発表している。まさに多彩な作曲作品を書き、その実績は圧倒的である。

古関裕而は明治42(1909)年、福島市に生まれた。生家は「喜多三(きたさん)」という呉服屋だった。5歳の時に父親が蓄音機を買い、そのときにレコードを聴いた記憶がある。そして10歳の時、卓上ピアノで作曲を始めた。福島商業学校を卒業した後、音楽家を志していたが、親類の人に「遊んでいるなら、ここに勤めてはどうか」と言われ、その親類が経営していた川俣銀行に勤務する。銀行在勤中も作曲活動は続けており、福島ハーモニカ・ソサエティーに所属しつつ、ラジオ出演などをこなしていた。だが音楽への思いは断ちがたく、2年で上京。昭和5(1930)年、コロムビアと専属契約を結び、はれて作曲家としてスタートすることになる。

昭和12(1937)年、「露営の歌」を作曲し、その翌年29歳で中支に従軍、すぐに除隊し、昭和15(1940)年には名作「暁に祈る」を作曲する。若い人たちの青春の気分をうまくすくい上げた作風は勇壮なメロディとなったため、戦時歌謡としての色合いが強く、戦争協力者として非難されたこともあった。しかし古関には好戦の気配などはなく、一貫して青春というものへの熱い思いがあったのだ。たとえば「若鷺の歌(予科練の歌)」については、「あの歌で予科練を志望した若者も多かっただろうが、その人たちが戦争で死んでしまったことを思うと、とても辛い」と語っている。

そして戦後、作曲家・古関裕而の本格的な活動が始まる。昭和22(1947)年7月、NHKの連続ドラマ『鐘の鳴る丘』がスタートする。この番組は昭和25(1950)年12月まで続き、その主題歌「とんがり帽子」は古関裕而のハモンド・オルガンで流され、多くの子供たちの支持を受けた。この演奏は連日生放送で流され、戦後を彩る歌となった。この時に使ったハモンド・オルガンは、福島にある「古関裕而記念館」に展示されている。このほか、歌謡曲で「夢淡き東京」「イヨマンテの夜」「黒百合の歌」や、阪神タイガースの歌「六甲おろし」などがある。

昭和23(1948)年、夏の高校野球のテーマとして、現在でも使われている「栄冠は君に輝く」を作曲。その翌昭和24(1949)年、長崎での被爆体験を伝えるために人生を捧げた、長崎大学医学部の永井隆博士をテーマにした「長崎の鐘」を作り、永井博士との交流は長く続くことになる。また昭和27(1952)年、NHKラジオの連続ドラマ『君の名は』の放送が始まり、茶の間の人気を集める。そのドラマは昭和29(1954)年まで続き、この放送が始まると、銭湯の女湯ががらがらになるという話も出たほどの人気になった。

古関裕而に会った人たちが例外なく言うのは、その人柄の柔らかさである。それは、その曲のおおらかさとつながっているに違いない。夫人・金子のすすめで絵を描き始め、79歳の昭和63(1988)年、画集「風景の調べ」を上梓した。本人は「私にとっては楽譜のない音楽だ」と語っていたという。平成元(1989)年8月18日逝去、80歳だった。勲三等瑞宝章受章。福島市名誉市民。
(文章：伊藤強)

.....
[日本コロムビアについて]

会社名 日本コロムビア株式会社
所在地 東京都港区虎ノ門 4-1-40 江戸見坂森ビル
代表者 代表取締役社長 阿部 三代松
事業内容 ミュージックソフト・ゲームソフト等の制作、宣伝、販売 および音楽アーティストのマネジメント
資本金 100,000,000 円
URL <https://columbia.jp/>

[ニュースリリースに関するお問い合わせ先]

日本コロムビア株式会社
財務・管理本部
Email takita_hiroshi@columbia.co.jp